



ネットワークディスクの透過型自動暗号・復号化

Encrypt File Server System

People ネットワークマスター Ver.1

インストールマニュアル

シリアルナンバー

1. 製品の概要

本ソフトは、ネットワークドライブを暗号化します。
ネットワークドライブへの読み込み、書き込みを管理し、暗号化します。

1-1. 本体のインストール

「本ソフト」は以下のような機能を備えています。

- (1) 暗号化設定機能
読み書きを許可しているドライブに対して暗号化をかける機能です。任意でする／しないを設定できます。
- (2) 書き込み禁止機能
ドライブの書き込みの禁止を設定する機能です。任意で書き込みの許可／禁止を選択できます。
- (3) ログ管理機能
本機能は別ソフト「InfinityLock」が別途必要です。
ドライブへの読み込み、書き込みがおこなわれた場合、その日時、読み書きが行われたドライブの記録をとります。

1-2. 対応ドライブ

本ソフトが管理するドライブは、PCに接続したネットワーク共有フォルダです。
最新の対応情報はこちらを参照ください。

<http://www.dnki.co.jp>

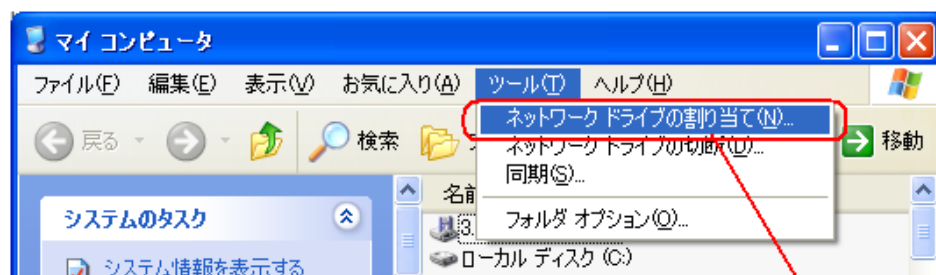
1-3. 対応PC

- Windows2000+SP4 の入っているPC。
- WindowsXP+SP2 の入っているPC。
- 空きメモリとして128Mb以上が必要。
- 空きHDD容量として5Mb以上が必要。

1-4. 「People ネットワークマスターZ」の注意事項



購入したパッケージが「Z」版の時は、インストールにあたり事前にZ:ドライブにネットワークを登録 しておいてください。インストールの時にZ:ドライブをチェックします。
ドライブ指定は事前に、マイコンピュータの「ツール」より実施しておいてください。



クリック


2. すでに使用しているドライブのバックアップと復旧


本ソフトはドライブ丸ごと暗号化するものです。
事前に、暗号化をかけるドライブをバックアップしてください。
本ソフトを導入設定後のドライブへの書き込みは全て暗号化します。
復旧をかけると自動的に暗号化して格納します。
ここでは、「TESTPC'の Enc(Z:)」というドライブに暗号をかけるものとして説明します。
バックアップ先はここでは BackUp(H:)とします。ユーザは自分の環境に読み替えてください。


■ 1. 暗号化をかけたいディスクの内容をバックアップ



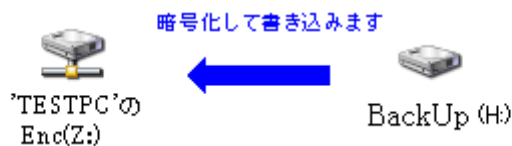
■ 2. 本ソフトをインストール&設定

 Z版はインストール・再起動から暗号化を開始します。
BASIC,Enterprise版は、設定後、PC再起動からドライブへの暗号化を開始します。 暗号化指定

 NetMaster.exe
InfinityLock
Enforce.device,LTD

 'TESTPC'の Enc(Z:)

■ 3. データの復旧



空のドライブに暗号化をかける時は、バックアップと復旧は不要です。
バックアップと復旧は Windows 標準のドラッグ & コピーにて行って下さい。
特別なプログラムは不要です。

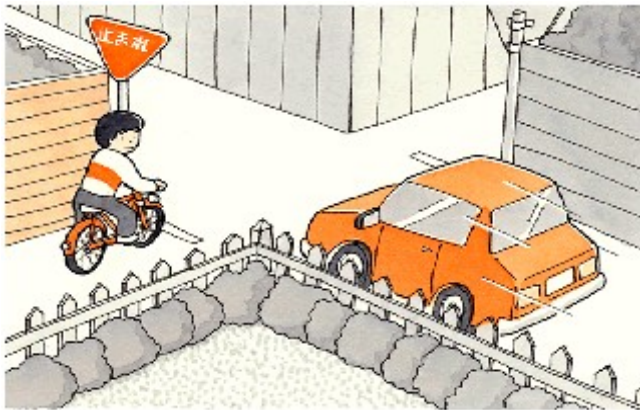
3. インストール

3-1. インストールの準備

ウイルス検出ソフトによっては本ソフトの機能を阻害します。ご注意ください。
最新情報をHPに案内します。

<http://www.dnki.co.jp>

ウイルス検出ソフトが入っている場合は一時的に検出をオフにしてください。



また、ウイルス検出ソフトの検出をオンにするにあたり、検出機能を良く確認してください。

- ① ウィルス検出ソフトの機能は最初は全てオフにしましょう。
- ② 各機能をオンにするにあたり、一つずつ確認しながらオンにしてください。
- ③ 本ソフトはファイル管理をきめ細かく行います。ウイルス検出ソフトと制御権を取り合わないようになっています。

※重要！まず初めに必ずお読みください

当ソフトはOSに組み込み動作するソフトです。インストール、アンインストールをした後は必ず再起動してください。

当ソフトの実際のインストール、アンインストールは次のOSの起動からです。従い、連続してソフトのインストール、アンインストールを行うと次のOSの起動時に場合によってはインストールとアンインストールを同時に行う事になります。場合によっては衝突がおきます。

必ず一つずつ行ってください。

3-2. 本体のインストール

本ソフトは、CDかUSBメモリのいずれかにより提供します。



どちらか



書き込み厳禁

USBメモリ提供モデルの場合は、本ソフトのインストール以外には使用しないで下さい。
もし、他の用途に使用した場合、以後インストールできなくなります。

本ソフトは、モデルによりインストール出来るPCの数が定まっています。
注意ください。

1ライセンスモデルの場合は、予備を合わせて2台までインストールできます。

※パソコンの認証は、HDDのフォーマットシリアルとMACアドレス(ネットワークカードのID)にて
行います。HDDのフォーマットおよび、ネットワークカードを変更すると異なるパソコンとして
認証します。注意して下さい。

※各ライセンスモデルとも常に一つ予備のパソコンを登録できます。上手に利用してください。

本ソフトは管理者権限にてログオンしてください。ユーザ権限ではインストールできません。

- ①本ソフト配布メディア内の”Setup.exe”をダブルクリックすると、インストーラーが起動します。指示に従ってインストールを行ってください。パソコンの設定によっては”.exe を表示しない場合があります。注意ください。



- ②インストールが終了したら、必ず再起動をおこなってください。

※再起動後、本ソフトは自動的に起動します。



「People ネットワークマスターZ」の注意
他の版と異なり再起動と共にZドライブの暗号化を開始します。
以後そのまま使用できます。暗号化鍵は最初は”1234”です。
暗号化鍵を変更したい場合は、次ページ以降をお読みください。
また、Zドライブに登録している共有フォルダを変更した時も同様。
一度、Zドライブの登録を解除し、再登録してください。

トラブルシューティング

インストールに失敗したときなど、OS が起動しなくなってしまった場合のリカバリー方法を説明します。

- ① PC の電源を入れ、”F8 キー”を押して Windows 拡張オプションメニューを表示します。↓
- ② キーボードで”前回起動時の構成”を選択して”Enter キー”を押してください。↓
- ③ 指示に従って前回正常起動時の設定で再起動を行ってください。通常通りに OS が起動します。
- ④ 起動後、当ソフトを一度アンインストールしてください。↓
- ⑤ 当ソフトの同時インストールができないソフトが入っています。これを探して対策をとってください。

3-3. アンインストール

Setup.exe よりアンインストール実施して下さい。

4. 使用方法

本ソフトの設定は配布メディアより「NetMaster.exe」を起動して行います。
配布メディアは管理者の方が管理してください。危険なのでターゲットとなるPCにはコピーしないで下さい。

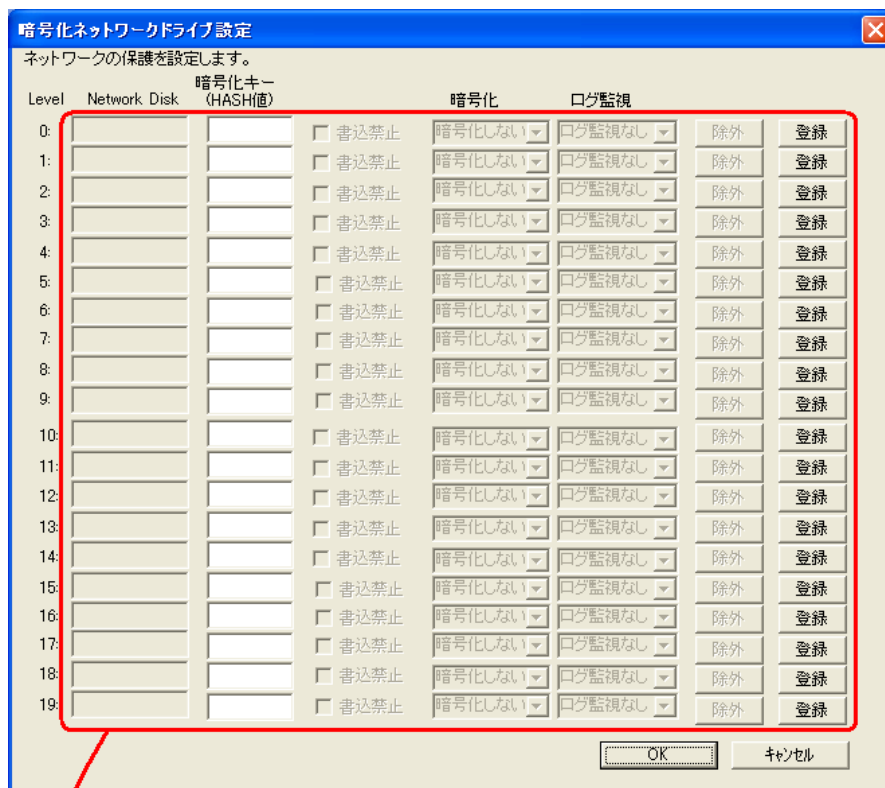


書き込み 厳禁

「NetMaster.exe」をパソコンに入れる事は推奨しません。
ただし、利便性を考えどうしても入れたい場合の処置を記載します。

ハードディスクにコピーして使用する時は、「NetMaster.exe」と「DLLhook.dll」
を使いやすいフォルダにコピーして使用してください。
コピーしたフォルダから「NetMaster.exe」を実行できます。

次に「ネットワークの設定...」を選択してください。

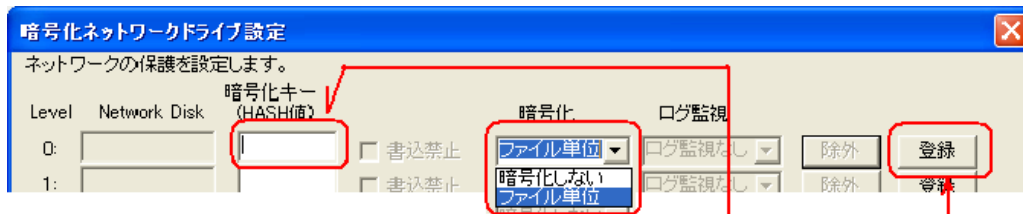


登録できる暗号化ドライブはモデルにより異なります。

- ・エンタープライズ版=20
- ・BASCI版=5
- ・Z版=1

4-1. 具体的な設定

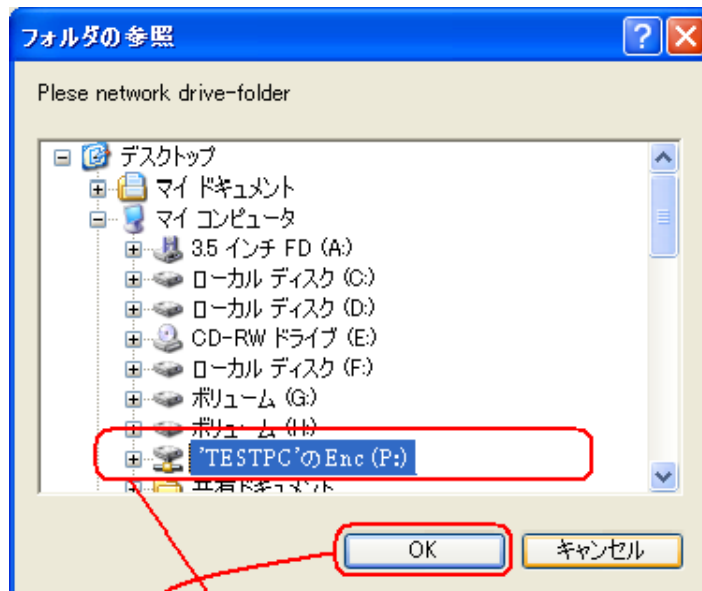
本画面より、設定を行います。①②③の操作を行ってください。



- ①管理したいディスクを登録します。
- ②次に暗号化の指定を選択します。
- ③暗号化ルールをキーワードにて入れます。
最初は"1234"になっています。

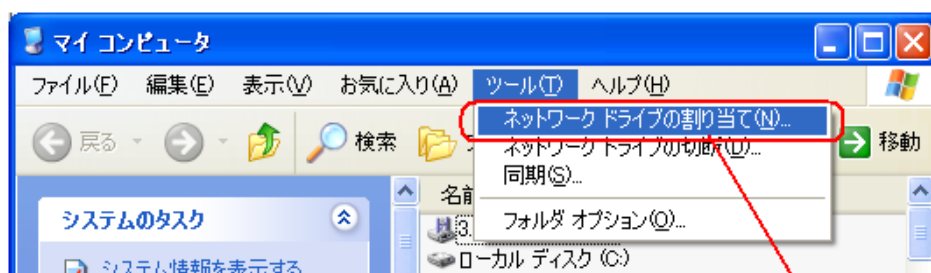
4-1-1. ドライブの登録

①の操作について補足説明します。登録ボタンを押すとネットワークドライブを設定できます。



- ①登録したいドライブを選ぶ。
- ②次にOKボタンを押す。

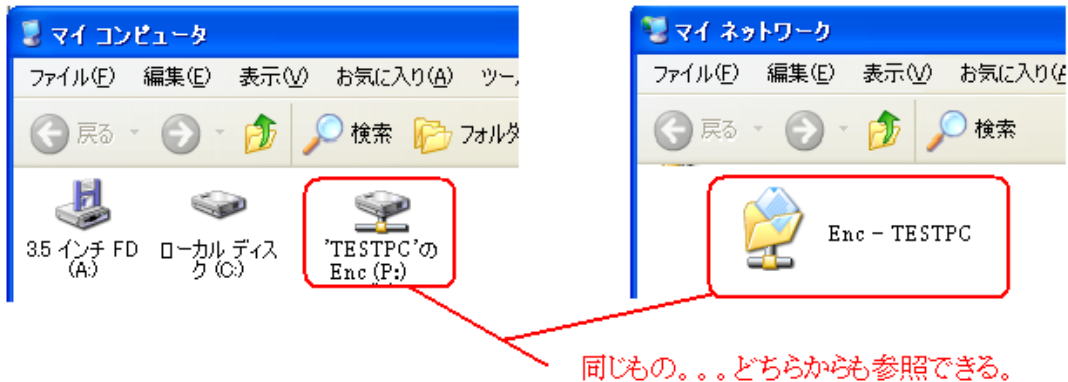
ここで登録できるネットワークドライブは、「Z:」「P:」のようにドライブ指定したものだけ有効です。ドライブ指定は事前に、マイコンピュータの「ツール」より実施しておいてください。



クリック

4-1-2. Windows の二重経路の問題

Windows のネットワークドライブへの接続は二種類あり混乱しています。すなわち、ドライブ番号からの接続とマイネットワークからの名前による参照です。Windows はどちらからもファイルを読み書きできます。



hoge.txt マイネットワークからの参照パス --> ¥¥TESTPC¥hoge.txt
ドライブからの参照パス --> P:¥hoge.txt

「hoge.txt」という文書を読む時、Windows はどちらからのパスでも参照できます。各社のソフトはどちらか一方ないし混在して参照します。

I 形式: MS-Office など → P:¥Readme.txt
II 形式: 秀丸エディタ V6.07 など → ¥¥TESTPC¥Enc¥Readme.txt

II 形式のソフトは可能な限りマイネットワークからの経路で参照しようとしています。

4-1-3. セキュリティポリシーの徹底

本ソフトを使用するにあたり、ドライブ番号経由で参照するように徹底してください。次の理由より、ドライブ番号経由で参照を推奨します。

- Windows 標準の付属ソフト、純正ソフトは多くが「P:¥Readme.txt」のようにドライブ番号から参照します。この経路のほうが安定して動作します。
- 「マイネットワーク」上のネットワークドライブのアイコンは動的に出現、消滅して一定しない。非常に不安定な印象があります。業務用途ではこの経路は使用を避けてください。

4-1-3. 設定の有効とPCの再起動

最後にこれまで行った設定を有効にします。次のチェックを入れてください。本ソフトの機能を有効にします。



設定が終わりました。PCを再起動してください。次回からネットワークドライブに暗号化がかかります。

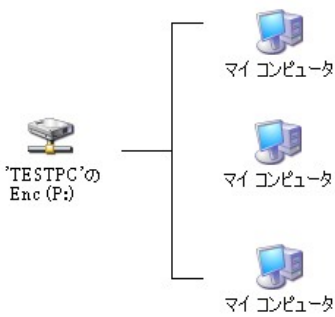
5. 簡単な使い方

暗号化指定したネットワークドライブと同様に使用します。通常どおり任意のアイコンをダブルクリックしてください。また、コピー・ペーストして使用します。

暗号化ドライブを読む時は自動的に復号がかかります。書くときは自動的に暗号化します。ユーザは暗号化を一切意識せず利用できます。



6. 複数クライアントPCの設定

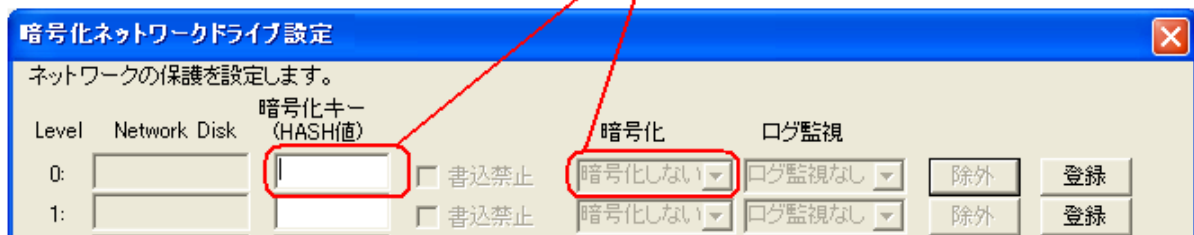


複数のクライアントPCから、暗号化ドライブを参照する方法を説明します。
各クライアントPCにおいて、共有するドライブを同じ設定で登録して下さい。

- 1 暗号化キーを同じ文字列にします。
- 2 暗号化の指定を同じにします。

この2つが一致したときに暗号化ドライブを共有できます。

各PCでこの2つの設定を合わせる。



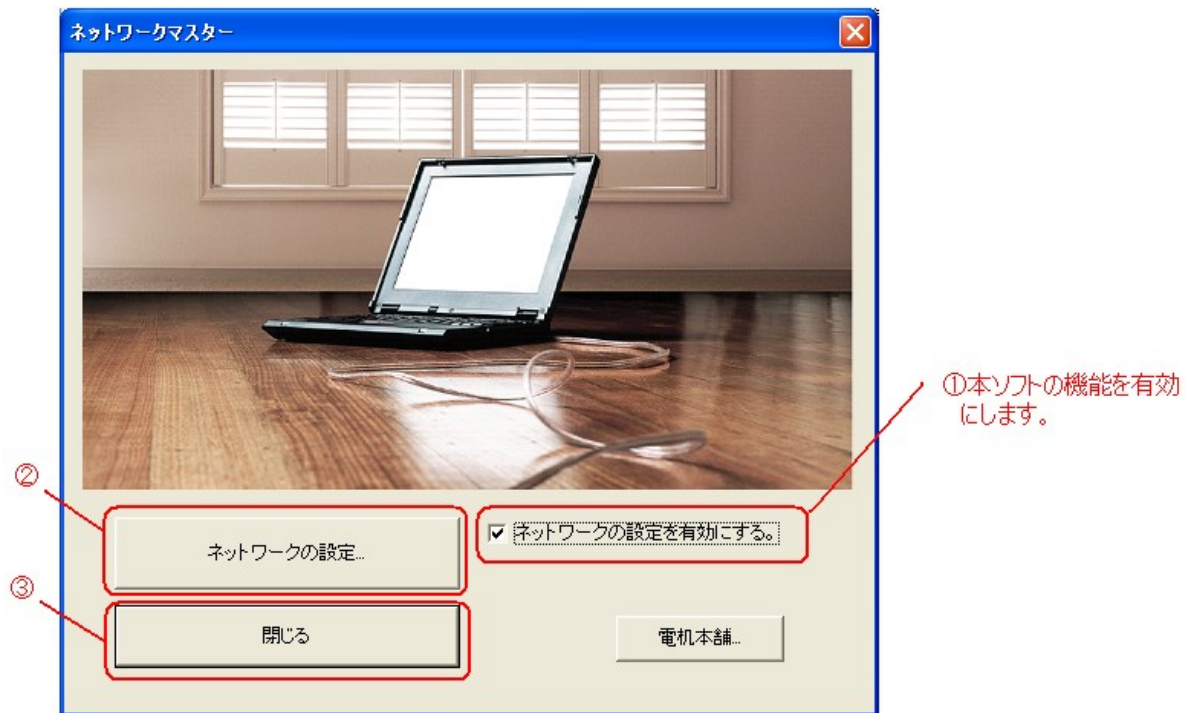
7. 注意事項

- ① ネットワークドライブ上で、ファイルの共有書き込みの禁止。
同じファイルを本ソフトを導入している複数のPCから同時書き込みは保障の対象外とします。
この場合、本ソフトを使用しなくてもファイルは最後の書き込みにより上書きされ途中データは消失します。
このような危険のある時は、必ずPCの内蔵ドライブに一度コピーしてから編集してください。
編集後ネットワークドライブに書き戻すように規則を作って下さい。
- ② 本ソフトを導入設定後、登録したネットワークドライブに対応の名称を変更の禁止。
本ソフトはドライブ番号とドライブ名で暗号対象を決定します。従い、変更すると暗号化がかからなくなります。
- ③ 仮想フォルダはサポート対象外。
XP以降のWindowsはzip形式のファイルをフォルダとして扱うことができます。
またフリーウェアなどでLHaなどの圧縮ファイルをフォルダとして扱うことができます。
これらのフォルダをここでは仮想フォルダと呼びます。
仮想フォルダの参照は明示的に解凍してから行ってください。
- ④ マイネットワーク経由からのファイル参照の禁止。
Windowsのネットワークドライブへの参照はドライブ番号方式とマイネットワーク経由の2つあります。
本ソフトは、原則ドライブ番号から参照してください。
マイネットワーク経由の参照できるように設計していますが、一つのドライブの入り口が複数あるのは不健全です。本ソフトを使用するに当たりドライブ番号経由にて使用してください。
- ⑤ 本ソフトは一度に暗号化/復号化できるファイルは255個までです。各アプリケーションが内部操作するファイルも含めてこの範囲で使用してください。
- ⑥ 本ソフトはマイクロソフト社製ACCESS、並びにフリーウェアのOpen Officeを動作対象外にしております。
- ⑦ 本ソフトを導入設定後、登録したネットワークドライブに対応した、ネットワークフォルダのネットワーク名称を変更の禁止。
アプリケーションは内部でドライブ番号を使わずネットワークフォルダの名前参照するものがあります。
名前を変えるとこれらのファイル制御が狂います。

8. リファレンス

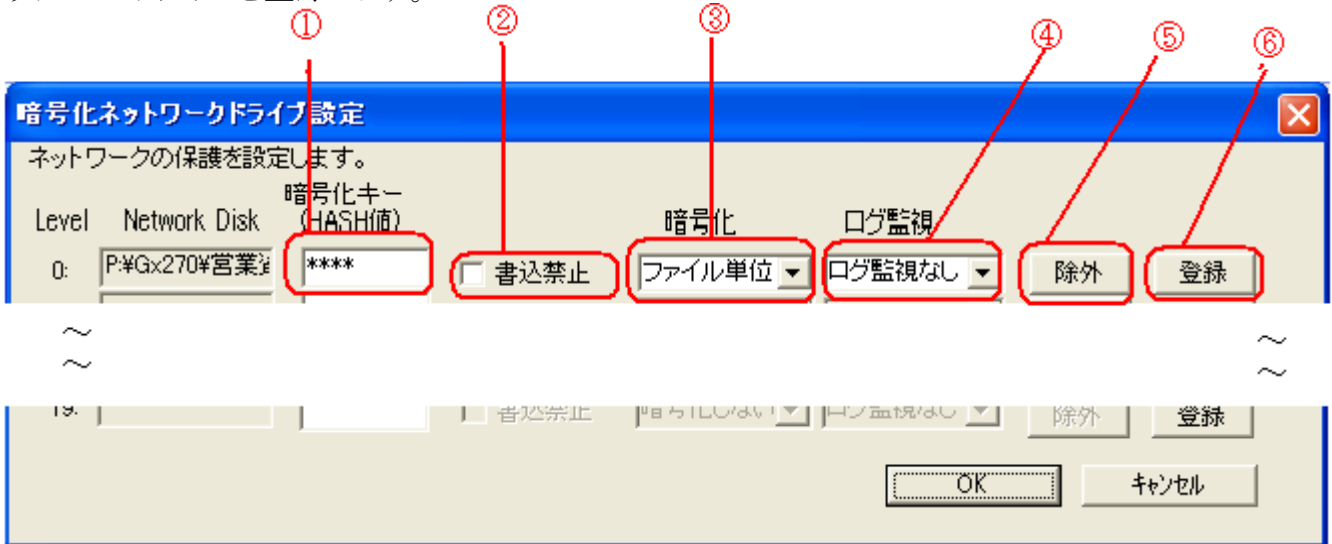
8-1. メイン画面

- ①本ソフトの機能をPC起動時に有効／無効を決定します。
一時的に各種設定を無効にしたい時はオフにしてください。
- ②ネットワーク設定画面を呼び出します。
- ③本ソフトを終了します。



8-2. ネットワーク設定画面

- ① ネットワークドライブの暗号化ルールを指定します。
ここで設定した文字列に従い、ドライブの暗号化と復号化を行います。
設定を変更した場合、既存のファイルは以前の文字列に従い暗号化しているので読み書きできなくなります。注意してください。
この設定を変える時は、事前にドライブの内容をバックアップしてください。
初期登録時は半角の”1234”に設定しています。
- ② ネットワークドライブへの書き込みを禁止します。
- ③ 暗号化のON/OFFを指定します。
- ④ ネットワークドライブへのアクセスを監視し記録を残します。
本機能を生かすには別途姉妹品 InfinityLock が必要です。
- ⑤ 登録しているネットワークドライブを解除します。
- ⑥ ネットワークドライブを登録します。



9. APPENDIX

お問い合わせ

有限会社電機本舗

e-mail: tec@dnki.co.jp

東京都港区高輪1-2-16鈴木ビル6A

※ サポートはメールにて

製品のシリアルNoをメールに入れてください。Noにてユーザ確認を行います。